

令和7年度事業計画並びに収入支出予算について

令和7年度事業計画

大阪社会医療センターは、疾病や労働災害などにより治療が必要でありながら、社会保険未加入のため、あるいは、その他社会的、経済的理由などにより、必要な医療を受けることが困難な、あいりん地域並びにその周辺地域の住民の方々に対して医療面から支援する無料低額診療施設として昭和45年に開設された。

その後、半世紀余りにわたり、日雇い労働者を含む地域住民の医療の確保、生活の安定に大きな役割を果たしてきた。

また、施設の耐震性の問題から移転、建替えが行われることになり、平成29年度に新病院の整備に向けた基本設計が完了し、平成30年度に実施設計、31年度から本格的な建設に入り、令和2年12月に新病院を開院した。

当院を受診する患者の疾患の傾向は、高齢化やこれまでの過酷な肉体労働、食事の偏りなどによる生活習慣病や、骨・関節の長年の負荷に関係がある疾患が多く、生活環境からのストレスや過度のアルコール摂取、薬物依存等の精神疾患も見うけられる。

また、あいりん地域は、結核罹患率が今なお高く、大阪市は第3次大阪市結核対策基本指針において令和3年度から7年度までの5年間で大阪市の結核罹患率を18以下にする取り組みを進めているため、当院も結核に対する取り組みを強化してきた。

一方、令和2年1月に始まった我が国での新型コロナウイルス感染流行による対策として、令和3年5月初旬から大阪府新型コロナウイルス感染症患者等入院病床確保緊急支援事業の「協力医療機関」として届出を行い、同年11月初旬から「重点医療機関」に格上げし、令和5年9月まで実施してきた。

また、もう一つのコロナ対策として、近隣各種団体、NPO等の要請も受けコロナワクチン接種を令和5年4月～5年12月まで計940件実施し、地域の感染予防に努めつつ同時に新病院のPRに努めた。

令和6年度の入院収益は、令和6年10月に療養病棟から地域包括ケア病棟へと病棟転換を行い収益増加を図った。今後、西成区におけるがんによる死亡割合は全国や大阪市に比して高い状況であるため、がん検診促進事業の取り組みを継続し、より一層の収益増加を図るなど、引き続き、入院患者確保と入院診療単価の増額に努める。

外来収益については、引き続き国民健康保険等に加入の患者や女性患者の増加を図り、より地域に開かれた病院をめざしつつ、外来患者層の拡大につなげる。

費用の縮減については、後発医薬品への切替による薬品費削減、適正かつ安価な契約及び買入価格、業務の効率化をより一層進める。

また、地域の関係各団体や介護事業所等との連携の促進や、病病連携や病診連携について、あいりん地域やその周辺にまで拡大して、患者増加を図る。ホームページを初め様々な方法により周知を図ることや、西成市民館広報誌「ほのぼの通信」の毎月当院掲載欄、視察・各種取材受入などを活用した病院事業の紹介を行う。地域住民に対して健康相談などを実施することで、より地域に密着した病院としての機能を啓発し、関係機関との連携体制を活かして、患者確保につなげる。

以上のような取り組みを進めるため、令和7年度は次の具体的事業を行う。

1 第二種社会福祉事業無料低額診療施設である付属病院事業の実施

当院の定款の目的として、①無料低額診療施設の運営、②医療・福祉に関する相談業務、③社会医学的調査研究、の3本柱の事業が定められており、中でも無料低額診療施設の運営は当院事業の中で最も重要な事業である。

(1) 診療科目は次のとおりとする。

内科・外科・整形外科・精神科・皮膚科・泌尿器科

(2) 入院患者並びに外来患者の見込数は次のとおりである。

①入院患者

(一般) 1日当たり平均35人、50床運用で病床稼働率86.0%

(地域包括ケア) 1日当たり平均28人、30床運用で病床稼働率93.0%

②外来患者(夜間診療及び休日診療を含む)

1日当たり平均205人

(3) あいりん地域の生計困難者を対象とする診療費の減免を行う。

①無料低額診療の対象者

あいりん地域並びに周辺の居住者及び生計困難者

②方法

西成区保健福祉センター(分館含む)、西成労働福祉センター、生活ケアセンターからの「診療依頼書」等を持参頂き、診療費貸付申請書兼借用書を記入して頂いた上で受診。

(4) 夜間診療及び休日急病診療を行う。

①夜間：水・金 17：30～19：30 受付

②土曜：9：00～11：00 受付

③休日：休日急病診療事業 10：00～16：30 受付

(5) 時間外の診療

通院患者の急変に対しては17時まで対応するほか、指定の重症患者については24時間対応を行う。

2 医療・福祉に関する相談及び支援の実施

(1) 当院の定款の目的として、掲げられた3本柱の事業の一つであり、地域における保健と福祉の増進への寄与を使命とする当法人として、相談業務は患者の生活に直接関わる重要な取り組みの一つである。

医療福祉相談係では、社会福祉士・精神保健福祉士の資格を有する者1名を含む2名の医療ソーシャルワーカーと1名の看護師が、患者やその家族がかかえる経済的・心理的・社会的問題等の不安や悩み等の様々な相談に応じている。

令和7年度も関係機関等と連携し、地域の保健と福祉の増進への寄与のため、問題解決の支援を行う。

令和7年度の相談件数の見込数は次のとおりである。

①入院患者の相談件数

延 6,000 件。(令和 5 年度 5,371 件。令和 5 年 4 月～令和 6 年 2 月 4,349 件)

②外来患者の相談件数

延 11,000 件。(令和 5 年度 11,004 件。令和 5 年 4 月～令和 6 年 2 月 7,629 件)

入外合わせて延 17,000 件。

○主な相談内容

①入院患者の相談・支援

入院時の生活保護手続き、高額療養の手続き、院外受診同行、退院後の生活相談、介護申請及び介護連携、訪問看護手続き等。

②外来患者の相談・支援

診療情報提供書、他院検査の予約、当院診療科以外の科の受診、緊急入院の手続き等。

(2) 外来・入院患者及び地域の方を対象に様々な機会を捉えて次の取組みを行う。

・西成市民館広報誌「ほのぼの通信」への当院関係記事の毎月掲載、当院主催の「志水会」、「地区担当者連絡会」、地域主催の「あいりんモデルケース会議」を通じて広報、啓発、資質向上に取り組む。

なお、インターネットを一層活用し、当院のホームページを始め、様々な方法により、病院事業の紹介も行う。

3 社会医学的調査研究の実施

当院の定款に目的として、掲げられた 3 本柱の事業の一つであり、あいりん地域における労働者の生活環境・疾病状態・労働状況・食生活等の調査・研究を行うとともに、実践活動を通じて地区住民の福祉に貢献することを目的としている。

例年 1 件の社会医学的調査研究を実施し、過去の報告書を当院のホームページにおいて公表しており、令和 7 年度においても調査を実施し、報告書の内容を当院のホームページにおいて公表する。

4 西成特区結核健康診断業務への参画

○結核健診（西成特区） 月曜日～金曜日 10:00～15:00 受付

資金収支予算書

(自)令和7年4月1日 (至)令和8年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		R7年度予算案 (A)	R6年度 補正予算案 (B)	差額 (A)-(B)	備考
収入	医療事業収入	1,669,105	1,426,915	242,686	
	入院診療収入(一般病棟)(公費)	330,161	386,522	▲ 56,361	@26,000円×35人×365日=332,150千円
	入院診療収入(一般病棟)(一般)	1,989	1,989	0	
	入院診療収入(療養病棟)(公費)	0	32,092	▲ 32,092	
	入院診療収入(療養病棟)(一般)	0	2,000	▲ 2,000	
	入院診療収入(地域ケア病棟)(公費)	479,340	146,875	332,465	@47,000円×28人×365日=480,340千円
	入院診療収入(地域ケア)(一般)	1,000	1,000	0	
	外来診療収入(公費)	612,859	617,410	▲ 4,551	@12,500円×48,810人=620,125千円
	外来診療収入(一般)	7,266	7,266	0	
	訪問看護療養費収入(医療保険)	14,400	9,175	5,225	
	保健予防活動収入	2,053	2,053	0	結核健診@4,389円×20人×12月+その他1,000千円
	その他の医療事業収入	220,037	220,533	▲ 496	
	補助金事業収入(公費)	217,037	217,533	▲ 496	無料低額診療等事業補助金
	補助金事業収入(一般)	0	0	0	
	その他の医療事業収入	3,000	3,000	0	文書料 @250千円×12月
	経常経費寄付金収入	0	0	0	
	受取利息配当金収入	55	55	0	
	その他の収入	1,200	1,200	0	
	雑収入	1,200	1,200	0	入院患者日用品代等
	介護保険事業収入	1,551	15,518	0	
居宅介護料収入	1,551	15,518	0	訪問看護	
事業活動収入計(1)	1,671,911	1,443,688	242,686		
支出	人件費支出	833,210	793,422	42,050	
	役員報酬支出	2,218	2,218	0	
	理事給	1,800	1,800	0	150千円×12月
	費用弁償	418	418	0	@11千円×(理事会8人×3回+評議員会7人×2回)
	職員給料支出	467,632	443,387	26,900	
	医師給	93,886	91,054	2,832	10人
	看護師給	231,554	219,639	11,915	55人(看護師48人+介護福祉士5人+看護助手2人)
	医療技術員給	54,425	52,682	3,624	薬局3人+臨床検査3人+理学療法3人+栄養1人+放射線3人
	訪問看護師	10,238	10,048	190	2人
	事務員給	76,529	63,964	13,339	20人(事務局2人、総務課13人、DX戦略室1人、支援課4人)
	派遣職員給	1,000	6,000	▲ 5,000	医事業務委託終了に伴う、派遣社員
	職員賞与支出	137,796	126,952	11,546	4.4月
	医師給	29,848	27,581	2,267	10人
	看護師給	67,484	62,464	5,020	55人(看護師48人+介護福祉士5人+看護助手2人)
	医療技術員給	16,375	16,482	▲ 1,008	薬局3人+臨床検査3人+理学療法3人+栄養1人+放射線3人
	訪問看護師	3,578	3,504	74	2人
	事務員給	20,511	16,921	5,193	20人(事務局2人、総務課13人、DX戦略室1人、支援課4人)
	非常勤職員給与支出	125,069	121,465	3,604	
	非常勤医師	95,834	95,834	0	
	パート賃金	29,235	25,631	3,604	看護師、薬剤師、看護助手、事務、理学療法士
	法定福利費支出	100,495	99,400	0	
	事業費支出	576,829	635,803	▲ 58,327	
	給食費支出	18,620	18,115	1,152	給食材料費の増
	医薬品費支出	454,998	511,830	▲ 56,832	後発医薬品採用促進
	診療・療養等材料費支出	66,021	68,668	▲ 2,647	
	保健衛生費支出	5,160	5,160	0	@430千円×12月
日用品費支出	1,530	1,530	0	@127千円×12月	
水道光熱費支出	30,000	30,000	0	(電気代 30,080千円 ガス代 3,800千円 水道代 0.120千円) × 75%	
賃借料支出	300	300	0	@25千円×12月	
車輛費支出	200	200	0	車検・ガソリン代等	

(単位:千円)

勘定科目		R7年度予算 案 (A)	R6年度 補正予算案 (B)	差額 (A)-(B)	備考
事業活動による収支	事務費支出	227,215	235,185	▲ 6,048	
	福利厚生費支出	1,500	1,500	0	健康診断料等
	職員被服費支出	8,210	9,200	▲ 990	マスク代等
	旅費交通費支出	1,100	1,100	0	
	研修研究費支出	1,000	1,000	0	
	事務消耗品費支出	12,556	13,500	▲ 944	
	印刷製本費支出	300	300	0	
	水道光熱費支出	7,404	10,000	▲ 2,596	
	修繕費支出	2,000	2,000	0	
	建物修繕	1,000	1,000	0	
	備品修繕	1,000	1,000	0	
	通信運搬費支出	1,800	1,800	0	
	会議費支出	120	120	0	
	業務委託費支出	132,846	131,358	3,410	
	検査委託費	19,000	16,100	2,900	
	その他委託費	113,846	115,258	510	経営コンサル、給食委託費の増
	手数料支出	2,072	7,000	▲ 4,928	看護師人材紹介手数料等
	保険料支出	1,872	1,872	0	医師賠償保険・火災保険・自動車保険等
	賃借料支出	5,680	5,680	0	病棟用カーテン・会計システム等
	租税公課支出	100	100	0	
	保守料支出	46,500	46,500	0	電子カルテ関連・SPD・GT・放射線関連機器等
	諸会費支出	1,500	1,500	0	
	その他の支出	655	655	0	
	雑支出	655	655	0	
	利用者負担軽減額	36,000	43,444	▲ 7,444	
	診療費減免額	36,000	43,444	▲ 7,444	
	支払利息支出	3,000	2,580	420	
	施設整備等借入金に係る支出	2,136	2,161	▲ 25	
長期運営資金借入金に係る支出	864	419	445		
その他の支出	0	0	0		
利用者等外給食費支出	0	0	0		
事業活動支出計(2)	1,676,254	1,710,434	▲ 29,349		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	▲ 4,343	▲ 266,746	272,035		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	0	0	0	
		0	0	0	
	設備資金借入金収入	0	0	0	
		0	0	0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
支出					
設備資金借入金元金償還支出	0	7,520	▲ 7,520		
設備資金借入金元金償還支出	0	7,520	▲ 7,520		
	0	0	0		
設備資金借入金元金償還支出(5)	0	7,520	▲ 7,520		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	▲ 7,520	7,520		
その他の活動による収支	収入				
	長期運営資金借入金収入	0	80,000	▲ 120,000	
	退職給付引当資産取崩収入	0	145,000	▲ 145,000	
	備品等購入積立資産取崩収入	0	35,000	▲ 35,000	
	その他の活動収入計(7)	0	260,000	0	
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	4,444	0	58,400	
	長期運営資金借入金元金償還支出	4,444	0	4,444	
			0	40,000	
	積立資産支出	18,400	0	18,400	
退職給付引当資産支出	18,400	0	18,400		
備品等購入積立資産支出	0	0	0	電子カルテ等更新費用	
その他の活動支出計(8)	22,844	0	18,400		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲ 22,844	260,000	▲ 18,400		
予備費支出(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	▲ 27,187	▲ 14,266	▲ 83,289		
前期末支払資金残高(12)	134,181	148,447	25,734		
当期末支払資金残高(11)+(12)	106,994	134,181	▲ 27,187		